

経営比較分析表（平成28年度決算）

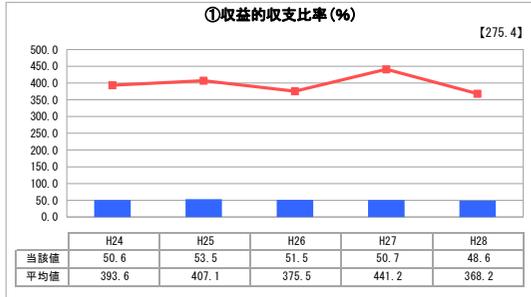
鳥取県境港市 境港駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	10	

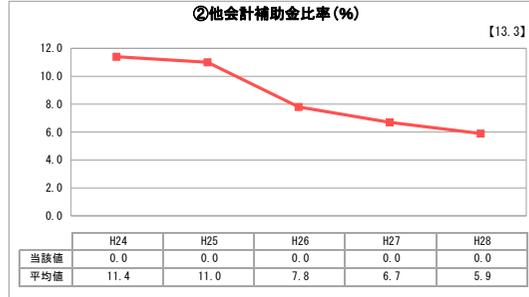
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	6,273
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
196	200	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

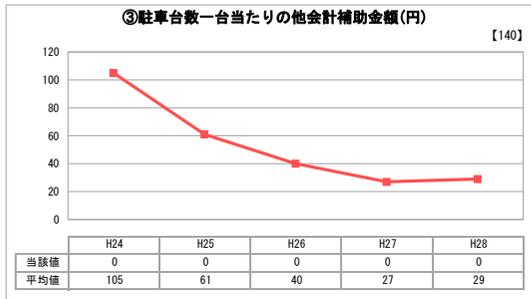
1. 収益等の状況



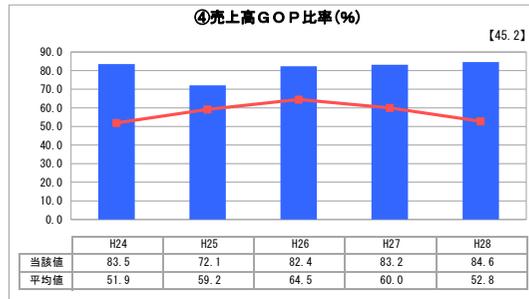
「経常損益」



「他会計補助金割合」

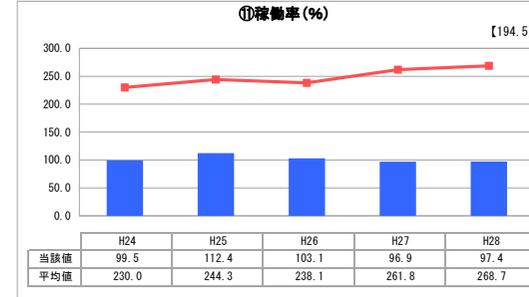


「他会計補助金額」

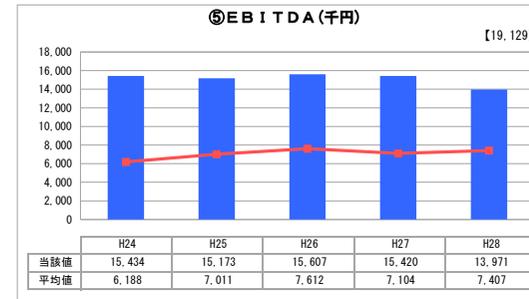


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

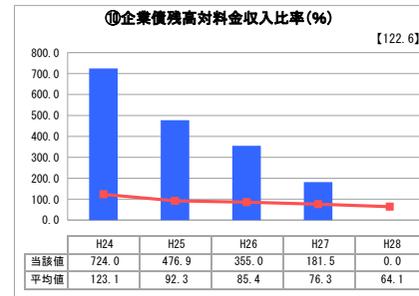


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)	162,679
⑧設備投資見込額(千円)	147,198



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
 収益的収支比率は、地方債を短期間で償還したことによる影響により50%程度で推移しており、単年度収支は赤字となっているが、平成28年度で償還が完了したことから、平成29年度以降は単年度収支が黒字に転じる見込みとなっている。
 売上高GOP比率、EBITDAともに類似施設の平均値を上回っているが、EBITDAは減少傾向にあり、収益性の低下が見られる。
 しかし、平成30年度には近隣の観光地である水木しげるロードリニューアル工事完了やゲゲゲの鬼太郎新シリーズアニメ放映開始など、観光客の増加による収益の伸びが見込まれる。

2. 資産等の状況について
 近隣の観光地である水木しげるロードのリニューアルに伴い観光客の増加が見込まれるため、駐車場の再編成を検討しており、約1億5千万円の設備投資を見込んでいる。
 地方債の償還は平成28年度で完了したが、駐車場の再編成が実施されることとなった場合には、新たに地方債を発行する可能性がある。

3. 利用の状況について
 水木しげるロードの観光客の減少や、周辺地域の民間駐車場の開設などにより、利用者数は減少傾向にあるが、水木しげるロードのリニューアルなどに伴い、利用者数の増加が見込まれる。

全体総括
 地方債の償還終了に伴い、今後は単年度収支が黒字となることを見込まれており、実質収支についても数年後には黒字化すると見込んでいる。
 また、水木しげるロードのリニューアルなどにより観光客の増加が見込まれ、収益性についても向上することが見込まれる。
 観光地に隣接した駐車場であり、今後観光施策と連携した整備・運営が求められること及び広場式の駐車場であり維持管理費が小さいことから、民間への譲渡や民間活用には馴染まないが、維持管理費の抑制に努めることで単年度黒字を継続し、実質収支の黒字化を図る。